

## 高生産性農業機械、加工施設の導入による茶園管理及び加工の省力化

事業名：経営構造対策事業（平成12年度認定）  
 地区名：三重県鈴鹿市山本地区  
 事業主体：（有）グリーンつばき  
 鈴鹿機械利用組合  
 施設名：高生産性農業用機械 ・ 複合管理機10台（H12～15）  
 農畜産物処理加工施設  
 F A 240 k加工ライン 1ライン（H13）  
 事業費：522,545千円（国費：249,242千円）

### 1. 各組織の概要

組織名	（有）グリーンつばき	鈴鹿機械利用組合
構成員	10名	3名
設立年月日	平成12年8月10日	平成12年8月20日
業務内容等	茶の生産加工及び販売、農作業の受委託等	共同茶管理機械施設の設置・管理・利用
連絡先	鈴鹿市産業振興部農林水産課 三重県鈴鹿市神戸1丁目18-18 0593-82-9017	

### 2. 取組概要

#### （1）施設導入経緯

当地域の茶農家は自園自製農家が多く、土地の利用集積、生産者の組織化が進んでいない状況であった。また、生産者の高齢化、後継者不足が進行する中で、地域茶業の担い手となりうる経営体の育成、茶園管理の合理化、省力化が急務となっていた。そのため、地区の認定農業者を中心とした10戸が法人（（有）グリーンつばき）を設立し、茶園の集積化による担い手農家の経営拡大と茶園管理の機械化による省力化と労働強度の軽減及び加工施設の再編を目的に、12年度から事業を実施した。

#### （2）取組概要

複合管理機を導入した2組織では茶園の再整備が進み、茶園管理作業の省力化が図られたほか、F A加工施設の導入により省力化及び品質管理の高度化等が図られた。その結果、経営体荒茶製造販売数量が11年度10戸で35tであったが、F A 240 Kラインの茶工場を導入したことから買い芽も増加し、15年度には112tまでに増加している。近年は茶の価格が低迷しており、今回導入した機械施設を積極的に活用することによって、生産から加工までの一連の工程について、より一層の効率化を図っているところである。

### 3. 目標設定

#### （1）全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の解消	
計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）	市町村目標割 合（%）	地区目標割合 （%）	計画時	目標	増加率 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）
27	34	125.9	5.2	20.0	(27.9%) 58.0	(38.0%) 79.0	10.1	0.0	0.0

#### （2）地区選択目標

確保すべき新規就農者の人数		経営体荒茶製造販売	
計画時（人）	目標（人）	計画時（t）	目標（t）
0	8	35.0	156.0

### 整備施設

茶加工ライン



複合管理機

